

地域について語り合おう

開催報告書

1. 開催目的	2
2. 開催概要	2
3. プログラム概要	2
4. 実施内容	3
(1) オープニング	3
(2) ウォーミングアップ（自己紹介をしよう）	3
(3) ワールド・カフェ	4
(4) エンディング	8
5. テーブルごとの意見・アイデアのまとめ	9
6. 参加者の声〈印象に残ったこと・感じたこと・気づいたこと〉	17

平成 22 年 6 月

墨田区福祉保健部厚生課

1. 開催目的

- 墨田区に対する想いを語り合うことを通じて、地域の課題の解決にむけて、区民・関係機関・区がともに考えていくきっかけづくり、動機づけを行う。
- 新たな地域福祉計画のコンセプトづくりの参考にする。

2. 開催概要

- 開催日時 平成 22 年 6 月 12 日（土）
13 時開場 13 時 30 分～16 時 30 分
- 会場 墨田区役所 13 階 131 会議室
- 対象者 地域福祉推進協議会委員、作業部会（拡大作業部会）委員、
区の職員など
- 参加者数 36 人

3. プログラム概要

- 13：00～ 受付開始
- 13：30～ オープニング
- 13：55～ ウォーミングアップ（自己紹介をしよう）
- 14：10～ ワールド・カフェ
- 16：30 終了



4. 実施内容

(1) オープニング

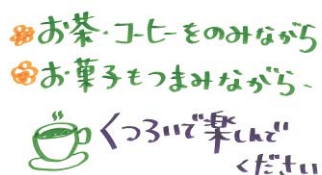
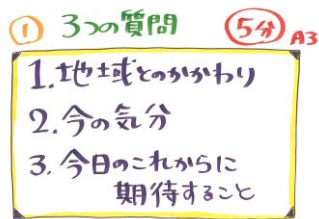
地域福祉推進協議会の野原会長よりあいさつをいただきました。

続いて相澤厚生課長が本日のワークショップに関する趣旨説明を行いました。

(2) ウォーミングアップ（自己紹介をしよう）

場を和やかな雰囲気にし、話しやすい環境をつくるため、ワールド・カフェに入る前に、「自己紹介をしよう」というワークでウォーミングアップをしました。

各自「1. 地域との関わり」「2. 今の気分」「3. 今日のこれからの期待すること」の3項目についてA3用紙に書き、席を立てて自己紹介しあいました。



(3) ワールド・カフェ

まず、ワールド・カフェについての簡単な説明を行いました。

ワールド・カフェとは?①

◇カフェのようにリラックスした
雰囲気の中で、テーマに集中した
話し合い(対話)をします

ワールド・カフェとは?②

◇メンバーの組み合わせを変えながら
4~5人のグループでの話し合いを
続けることにより、あたかも参加者
全員と話し合ったような一体感と
ワクワク感が生まれます。

全体の流れ



- 1ラウンド 25分
- ラウンドごとにメンバー入れ替え

模造紙とペン

- アイデア・絵を描く
 - 描いたものをつなぎあわせる
- ★書記役はいません

～ カフェ・エチケット ～

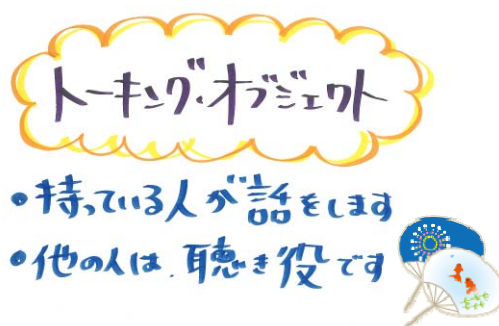
- ◇テーマに意識を集中して話し合いましょう
- ◇今、ここで感じたこと・思いついたことを大切にしてください
- ◇話は短く、簡潔にお願いします
- ◇相手の話に耳を傾けましょう
- ◇アイデアをつなぎあわせてみましょう
- ◇遊び心で、いたずら描きをしたり、絵を描いたりしましょう

会話を楽しんでください!

いよいよワールド・カフェです。

第1ラウンドのテーマは、「現在のすみだの地域の『よいところ』はどこですか？
また、『残念に思うところ』はどこですか？」です。

第1ラウンド



25分間話し合ったところで席替えです。1人（ホスト）を残して、他のメンバーは別々のテーブルに移動し、メンバーの組み合わせを替えました。

第2ラウンドのテーマは、「地域の福祉が推進されている理想的な姿とはどのようなものでしょうか？その実現のために、私たちは何ができるでしょうか？」です。

第3ラウンドは、第1ラウンドの際のテーブルに戻り、第2ラウンドと同じテーマで話し合いました。

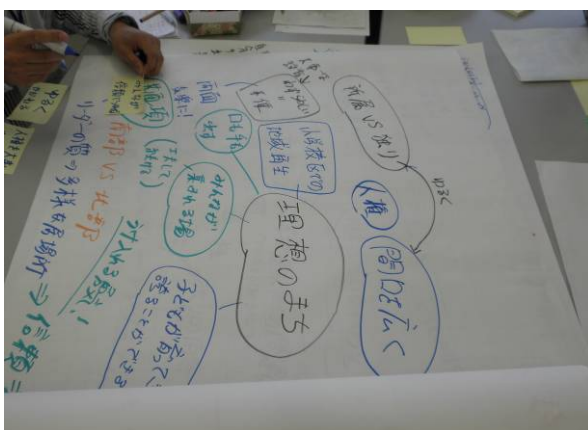
第2ラウンド

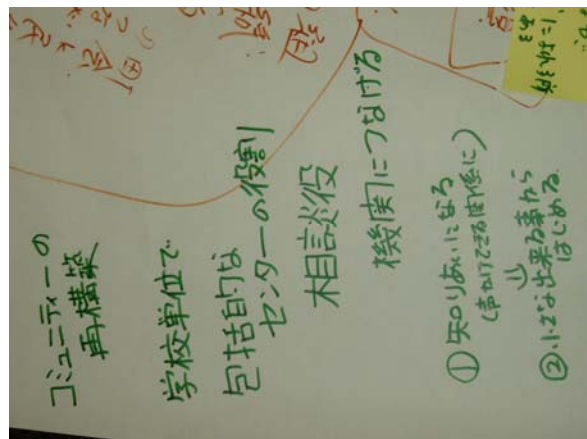
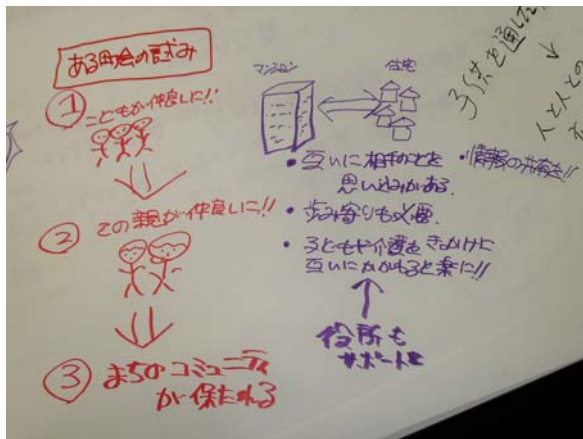
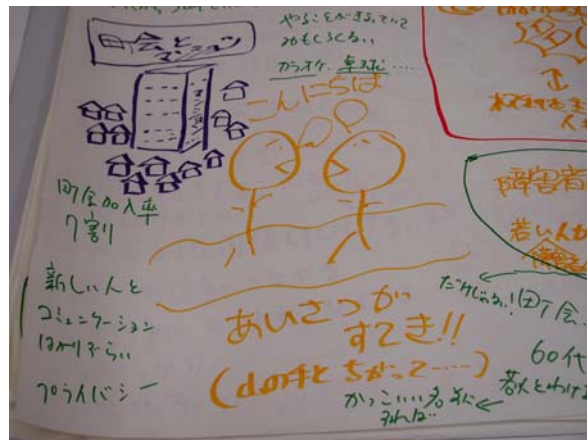
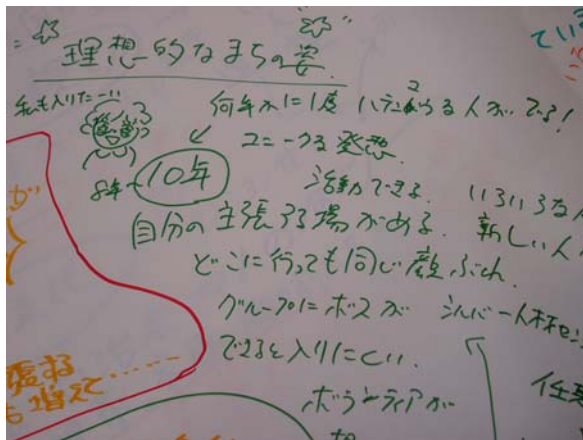
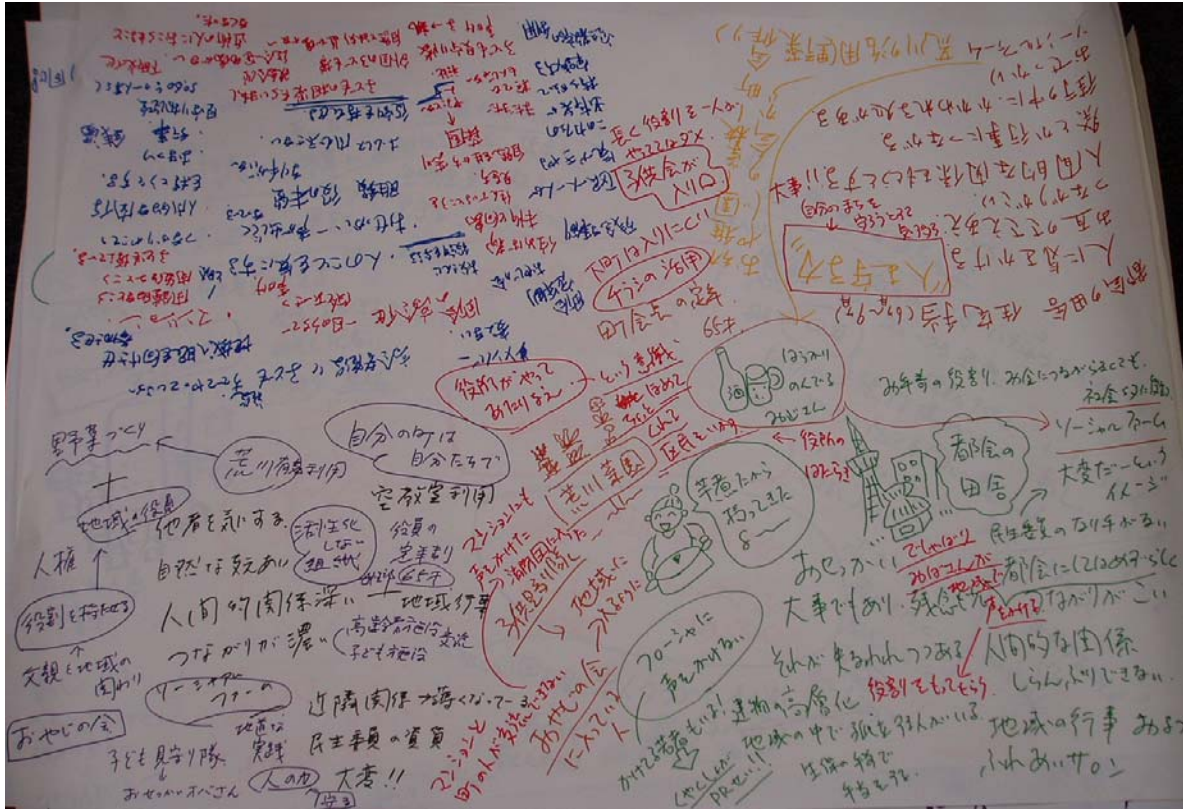
テーマ変わります



第3ラウンド

- 元のテーブルへ
- 第2ラウンドと同じテーマで!!





全体の振り返りとして、対話から生まれた意見やアイデアを付せんに書き、模造紙にまとめました。

続いて、今日のワールド・カフェで「印象に残ったこと・感じたこと・気づいたこと」を A3 用紙に書き、テーブルごとに発表・共有した後、全体の中で発表したい人が挙手をして発表をしました。

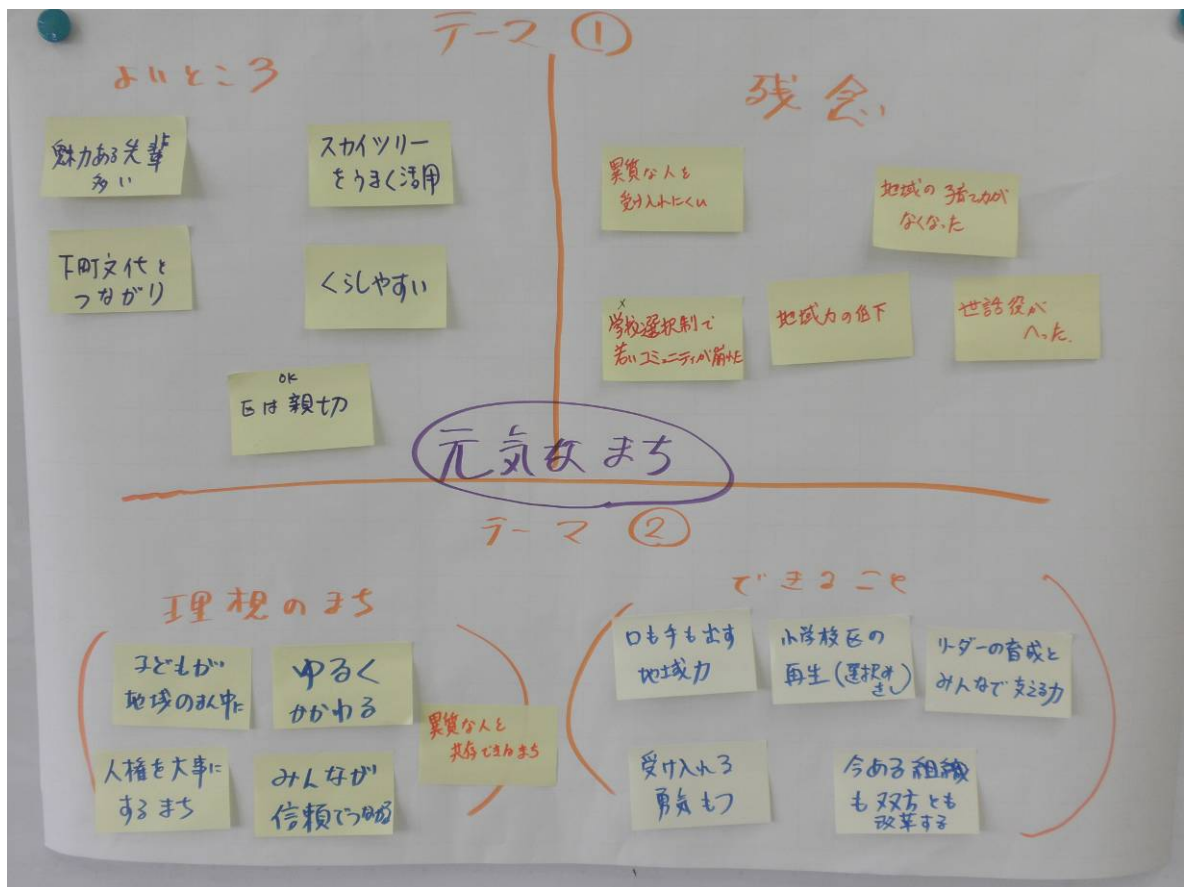
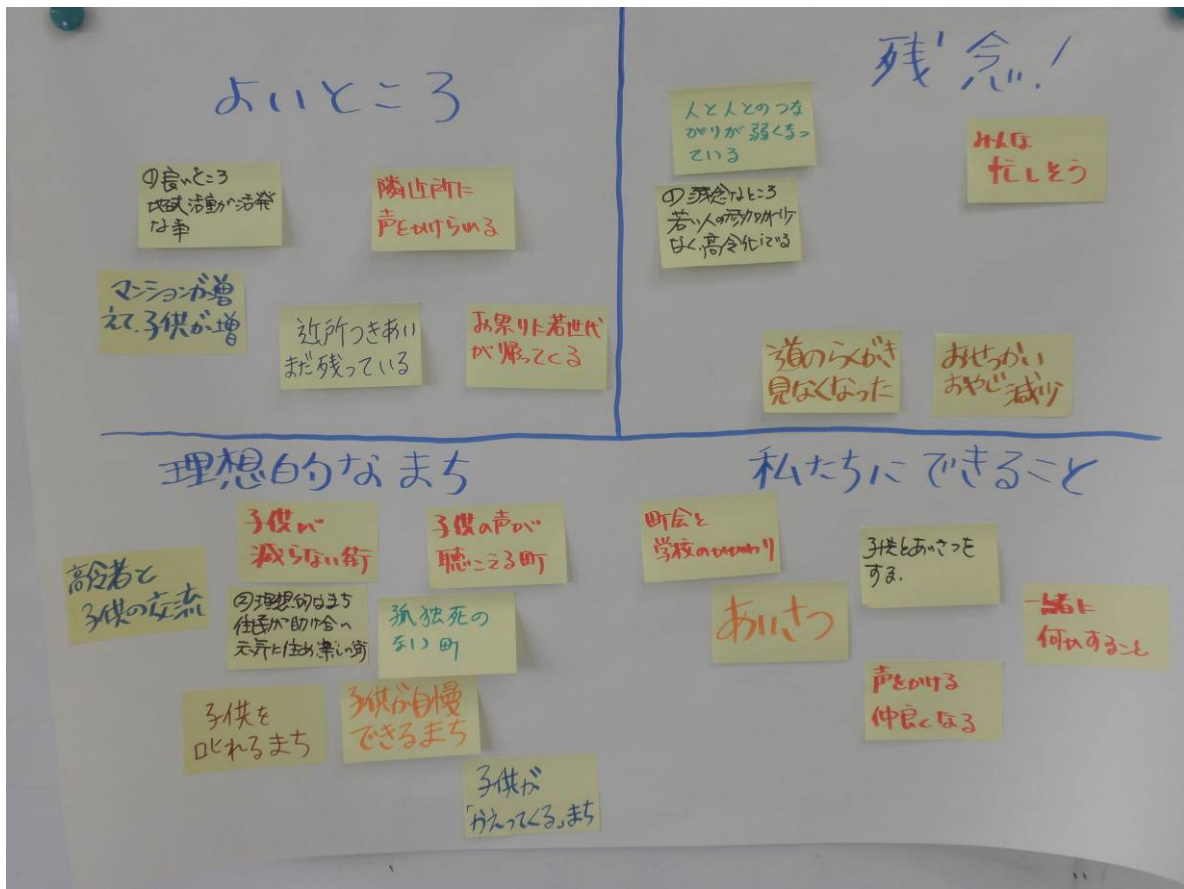
これが最後!!
全体会議
語ったことをみんなで
共有しましょう



(4) エンディング

最後に、野原会長より地域福祉に関する情報提供がありました。
細川福祉保健部長による閉会のあいさつで、ワークショップを終了しました。

5. テーブルごとの意見・アイデアのまとめ



〈よい〉

建設の町並み
建築の町並み
町並みがある

町会組織が
活用する

下町人情

中心部を
積極的に
活用する

地域の中
の居る
べき

〈わるい〉

古い体質の
町会運営がある

行政任せ

金で解決する
町会運営がある
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

活動が
少ない

理想

町会が
活動する
町並み

古い体質の
町会
運営がある
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

自分の
声かけが
ある

町会が
活動する
町並み
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

町会が
活動する
町並み

町会が
活動する
町並み
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

できること

町会が
活動する
町並み

町会が
活動する
町並み
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

町会が
活動する
町並み

町会が
活動する
町並み
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

町会が
活動する
町並み

町会が
活動する
町並み
（防犯カメラ、
防犯灯、防犯
パトロールなど）

テーマ 1
テーマ 2

良いところ

町会が
活動する
町並み

協力的な
地域

防犯カメラ
に
集まる

残念

町会も
活動
が
少ない

自営業が
減った

理想的な 町

防犯
カメラ
に
集まる

できること

近所の
町並み
を
保つて

地道な
活動
を
続ける

町会が
活動する
町並み

『すみだの地域のよいところ』

<p>地域活動が活発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 町会がしっかりしている／町会・自治会が強い協力関係がある／町会組織を活用する ● 地域活動が活発な事 ● 中小企業主が積極的に出ている ● 女性パワーが生かされている ● 町のそうじ ● 防災訓練にたくさん集まる ● お祭りに若い世代が帰ってくる ● 魅力ある先輩が多い
<p>人と人とのつながりがある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 隣近所に声をかけられる／あいさつができる／声かけ挨拶が豊か／小学生がまちであいさつをする／おじさん、おばさんがあいさつ、子どもを指導 ● 隣近所がある／近所づきあいがまだ残っている ● 下町人情／下町で住民がきさく／昔ながらの人情が生きている／下町文化とつながり ● 他の地域より地域のつながりがある／協力的な地域 ● 人間的な関係がある／人間関係の深さ ● でしゃばりおばさんが多い／おせっかい屋さんが多い・おせっかい、めんどろみのよい人 ● 自然な支えあい／助け合いの心／人を守る力 ● あけすけ、つつぬけによる住みやすさ
<p>環境がよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 迷路の町並み・碁盤の目の町並みが両方存在する ● スカイツリーをうまく活用 ● 立地条件がよい／交通の便がよい／街がコンパクト ● 荒川の活用 ● 働く姿をみることができる町工場のまち ● 暮らしやすい／地域の中の居心地がよい／住みやすい ● 田舎らしい雰囲気
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元愛がある ● 自分たちのまちは自分たちで何とかしようという心 ● マンションが増えて子どもが増 ● 区は親切

『すみだの地域の残念なところ』

<p>地域活動が活発でない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 町会等組織の不活性／古い体質の町会運営がある／世話役が減った ● 町会への入りにくさ⇔町会に関わってくれない外国人 ● 町会組織の高齢化／町会もボランティアも高齢化、若い人が入らない／若い人の参加が少なく高齢化している ● 民生委員が大変で後継者がいない／民生委員さんを支えるネットワークが少ない（バックアップ） ● 活動する人が偏っている／みんな忙しそう ● 行政まかせ
<p>地域活動の場がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りの役割がない ● 子どものための運動場、教育会館がほしい ● 近隣の場の利用、提供
<p>人と人とのつながりが弱くなってきている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人と人とのつながりが弱くなっている／人間的な関係が薄らいできている／地域の関係が薄くなった／地域の関係が弱くなっている ● 孤独・孤立（いいマンションほど課題）／マンションの付き合いが薄い ● 地域力の低下／地域の子育て力がなくなった ● 地域から子どもたちの姿が薄れていく（学校選択制度） ● 学校選択制で若いコミュニティが崩れた／学校選択制による子ども、保護者の関係 ● おせっかいおやじ減少／でしゃばり ● コミュニティの再構築（相談役の働き） ● 家族の絆を深める機会が少ない／家族関係の弱体化
<p>ソーシャル・エクスクルージョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 異質な人を受け入れにくい／排他性があることも認識すべき（真の人権意識）
<p>環境についての不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● タワー等で下町のいいところが残るか心配 ● ワンルームマンションが増えている ● 自然が少ない ● お店の閉店／福祉の施設が少ない／防災・避難場所が少ない ● 道のらくがきをみなくなった ● 自営の減少、サラリーマンの増加、産業形態／自営業者が減った
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 行き過ぎた個人情報保護 ● 外国籍児童に対する配慮／国際化（言語の壁） ● 全ての行政の仕事を分化しすぎている、もっと大きなテーマだけで活動すべき ● 虐待が家族内である ● やることがなく酒びたりの男性がいる ● バカンスにあらわれる日、欧の過ごし方の方がいい

『地域の福祉が推進されている理想的な姿』

<p>地域活動が活発に行われている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい人がどんどん参加／若い人が町会で活躍／それぞれが役割をもつ ● 新しい活動が生まれる ● 民生委員さんサポート隊 ● ボランティア精神の見直し／子どもの市民、ボランティア教育 ● 古い体制の打破（同じことの繰り返しはだめ、10年ごとには新しいメンバーでの企画を）
<p>人と人とのつながりがあり、支え合っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● つながりが濃い／人と人をつながりが強い／あいさつから人がつながる／連帯感のあるまち ● ゆるくかかわる／みんなが信頼でつながる／自らが声かけをする ● 住民が助けあい、元気に住め楽しいまち／みんなが元気になれるまち ● 近所を他人と思わないまちづくり／次世代に伝えようとなり組の力 ● 楽しく仲良く支えあい Hug Hug／まちぐるみで見守りあう／子どもも大人も地域を守る ● 孤独死のないまち／孤立している人がいない／高齢になってもひとりで暮らせる ● 高齢者と子どもの交流 ● 家庭の中での一体感／地域のつながりの前に家族のつながり
<p>子どもが中心となっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが自慢できるまち／子どもが地域の真ん中に ● 子どもの声が聴こえるまち／子どもが減らないまち／子どもがいっぱい住めるまち（高齢化により消滅しない） ● 子どもが「かえってくる」まち ● 子どもを叱れるまち ● 子育ての重要性
<p>ソーシャル・インクルージョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 異質な人と共存できるまち／人権を大事にするまち／人権を守る
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉ということを考えなくていい社会 ● 安心して暮らせる ● 小学校単位の包括相談センター ● ソーシャルファーム ● 10年後、20年後を考慮した発想をする ● 荒川河川敷の有効利用 ● 鍵のない住居に住める社会づくり（安心・安全） ● 冒険ができる墨田区へ（家族で再発見する） ● スカイツーのように見上げられる墨田になろう

『理想的な姿実現のために私たちにできること』

<p>地域活動に 取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地道な活動を続ける • 町会住民、自治会住民の交流を図る／町会と学校のかかわり • 高齢施設と保幼施設の交流（日常的に）／子どもを中心とした交流の促進 • 今ある組織も双方とも改革する • ボランティア体験を大切にす • NPO、学校、学童、児童館が核になる • 企業の社会貢献を促す • 子どもの時間を回復する • いっしょに何かする • 墨田の自然を生かす（荒川とか）／ホテルの生息する川づくりを地域でめざす→地域がひとつになるきっかけ
<p>人材を育て る・活躍でき るようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リーダーの育成とみんなで支える力 • おとしよりの活用／団塊の世代に期待 • お父さんの出番をつくる（ワーク・ライフ・バランス）／サラリーマンの人たちの出番をつくる • やることのない人に役割を与える／次なる人を発掘する
<p>あいさつ・ 近所づきあい などをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> • あいさつをする／子どもとあいさつをする／あいさつのあふれるまち／区民一人ひとりが人間関係を築くことを実践する（あいさつなど） • 声をかける、仲良くなる／誰にでも声をかける（孤立させない）／声かけのできる関係の構築 • 人に気をかける／生活のちょっとした変化に気づきあえる／おもてなしの心をもつ • 口も手も出す地域力／下町は手も出すし口も出す（おせっかい） • お互いの支え合い／助け合う（両隣から）／何気ない助けあい • 無意識の当たり前の見守りがある／見守りの日常化 • 新住民への声かけ、おさそい／近所のつながりを保つこと • 家庭の日の活用／まちづくりの前に家族のきずな
<p>ソーシャル・ インクルージョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 受け入れる勇気ももつ • 認め合う地域社会／お互いを認める • 人権感覚を磨く／権利と義務の理解
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • みんなが声をあげる、その声を聞く • 区役所が住民をほめる？その気にさせる • 区の職員と親くなる／区役所、区職員と関係を密に • 小学校区の再生（選択制見直し） • 私たちではなく学校に何をすべきか課題を求めてほしい

6. 参加者の声<印象に残ったこと・感じたこと・気づいたこと>

- とても楽しかったです。まだまだ元気に地域を思う方が、たくさん住んでおられることに励まされました。この助け合い気質を、どうしたらこれからもすみだの中に浸透させることができるのかを考えることが大切だと思います。
- 少し焦点が定まっていなかったかな？ 堅苦しさはない。テーマがもう少し具体的であれば、より良い意見がでてくるのでは？ 新鮮な感じがした。
- 話がバラバラになるのかと思っていましたが、集まった人たちと意見が一致して楽しく話げできました。墨田区のことをみんな考えていることを実感した。
- 最初はとても不安でしたが、とても楽しかったです。色々な人達とお話しも出来、様々な立場からの考えもきけましたが、みんな“すみだ”が好きみたいです。
- 教養ある人（若い方）との近代的な話し合い、とても勉強になった事と、肩に力を入れなくて、とても楽しく過ごしました。
- 皆さん地域の福祉について関心が高く、色々な意見を聞き、勉強になりました。只、町会、ボランティアの高齢化が進み、これの解決が未来につなげる方法ではと思います。
- 地域内の「人」と「人」とのつながりが、うすくなってきていることを心配していることは、参加者みな共通な思いを持っていた。→ここをなんとかすれば、地域の福祉力が↑UP！！
- 現状について認識の共有化ができたように思う。知り合いになれて良かった。
- 町会でもボランティア団体も高齢化に悩んでいるという話が多く、共通の問題と思う。変わらない世の中でも一歩をふみ出さなければとは思いますが、新しいことをするのはむずかしい。
- みんなが墨田に愛着を持ち、危機感を持っていました。この思いを次の世代（子どもたち）に伝えていける、そんな計画を皆で作っていきましょう！
- 自由で楽しい会話が出来てよかったです。すばらしい人々とお会い出来ました。ありがとうございました。
- 心を開いて話し合えば、解決の糸口はみえてくる。人と人との出会いは、生きるエネルギーである。
- この半日の集いで、魅力ある人達がたくさんいることに、勇気を持ちました（地域再生は実現できるという確信）。区民による区民のための地域福祉をまん中におきたい。
- “こんとん”の中から、自分なりに答えのヒントがつかめたような気がする。他の人の意見・考えと自分の考えが、つながる瞬間に快感を感じた。
- ワールド・カフェ方式は新鮮でした。いろいろな方と語り合えて良かった。子育てや自然とふれあう事のアイデアが聞けて良かった。
- いろいろな意見を聞けました。たくさん有意義なものでした。もう少し時間があれば、もっとアイデアが出たと思います。

- 皆がそれぞれ問題意識をもっているが（しかもアイデアもある）、実現するのに何が足りないのでしょうか。個人の意識？ 行政のお膳立て？
- 皆、それぞれの分野で活躍している方たち。その立場により、発想が異なるので面白かった。グローバルなものの方で、地域のあるべき姿を企画すべきである。
- ボランティアで？（何かできる人ではなく、誰でもできるんだよ）。日常生活（活動）体験から出る意見は重みがあるな～と感じた。これを町に持ちかえって、多くの人に話したい！！
- 既存の硬直化した組織（町会・自治会・その他）をボランティアの活動で、ゆり動かすことが必要。ボランティア活動の拡大・普遍化・日常化、高齢者をその気にさせよう。
- 皆さんパワフル！！それぞれの場所でごんばってるな。この力を皆であわせたら、もっとよくなる。いろいろな問題を話しあえたらいいな。
- 話すことの楽しさ。アイデアは、他者の言葉がきっかけ。多くの分野の方との交流の素晴らしさ。
- 墨田区民である参加者の方の「誇り」を感じました。住んでいる方達が、「良い街だ」と思っていることが「1 番大事」です。「子ども」によって街は何回も再生されていくと思います。何か手伝えれば、と思いました。
- 子どもが安心して住めるまちを理想としたい。あいさつが交わせるまち。思ったより楽しく話し合いが出来ました！！
- 地域について真剣に考えている人達が、た～くさんいるという事。墨田の街もすてたもんじゃない！キーワードは「こども」ではないのか！？
- 久しぶりに人の話をゆっくり聞いた。とても充実した時間を味わった。早速明日からの生活に反映したい。
- 闊達に話すことができた。広い区的生活ぶり、状況を知ることができた。地域福祉推進のキーとなる考え方がつかめた気がする。
- 人と話すことの、協議・議論・対話の楽しさを味わった。顔ぶれがよかった。安心して話せた。
- 「まちづくりの前に、家族の関係を見直そう」との話に深いものを感じた。まちづくりにも、人権感覚は大切であることを再認識させられた。
- 小学校単位の包括支援センターが実現すれば、素晴らしいことと思った反面、運営方法の難しさ？はどうなのか考えさせられた。
- 地域・福祉は家族のきずなから。身近な人との声かけの関係をつくる。